



写真コンクール四季の部 金賞「夜の紅葉」 八王子市 渡辺 武彦



豊かさとは何か・・・

別格本山高幡山金剛寺 貫主 川 澄 祐 勝

仏教タイムスの戦後七〇年シリーズ企画「豊かさとは何か・・・」の第四回目に私の原稿が掲載されましたので、その概要を再録し皆さまと一緒にこの問題を考えて見たいと思います。

〔前半略〕 大学卒業後私は縁あって僧籍に入りましたが、師僧には殊にきびしく仕付けられました。師僧は総本山の管長を勤められた方ですが、食事は絶対に残さず、物を活かして使うことの達人で広告の裏紙まで徹底して利用されていました。また公私の区別が厳密で「浄財を浄所に」を座右の銘とされ、寺の収入を私生活に使うことはありませんでした。その一方人間関係をとても大切にされ「人生は一期一会、諍いを翌日に持ち越さず必ず笑って別れる」と生き方の極意を教えてくださいました。

いま日本中がデフレ脱脚・景気回復・豊かな日本を合言葉に、あらゆるメディアを使って消費者の購買意欲を煽る新商品の販売競争が繰り返られており、その結果まだ使える品物が各所で山積みになっています。更にまた食品等には賞味期限が添付されるようになった為、賞味期限が過ぎたからと言ってまだ十分食べられる食品でもどんどん放り出されて仕舞います。それ故日本中どここの自治体でも大量に発生する廃棄物の処理に悪戦苦闘しておるのが現状です。

この状態は戦後の経済成長期の「消費は美德」の合言葉が思い出されるほどですが、物をたくさん作り、たくさん消費することによって本当に豊かな生活が保障されるのでしょうか。

私どもの寺の最奥に三棟の茶室が連なっています。その中の一つ知足庵には先代の書「知足以自誠」（足を知るを自ら誠む）の軸が掛かっていますが、この知足の教えは法句経・遺教経などに見え老荘の教えでもあります。この知足の教えは大量生産・大量消費を当たり前と考えている現代日本人にとって最も大切な教えで、また同時に下句の「自ら誠む」が私達の生き方の基本であると思います。

本当の豊かさとは、この「知足以自誠」の暮らしてあり更に更に家族や近隣となごやかな会話のある生活であり、私達の子孫に大きな負担を残す原子力発電などに頼らない慎ましい生活のことであると私は確信しています。

お不動さまの心——(九十)

現代の世相から(50) 廣澤隆之

たちもいます。

最近、通勤の途中で都内のある家電量販店へ行く機会がありました。まず老眼鏡を新しく購入しようと思い、眼鏡売り場へ行きました。店員に眼科医院で発行してもらった処方箋を見せて、商品の説明を受けました。カウンターの椅子席で購入についていろいろと質問している夫婦がいました。その脇に坐って夫婦の会話の様子が聞こえてきました。中国語で話していますので、明らかに中国人であることがわかりました。眼鏡までも日本で購入しようとするのか、と感心してしまいました。

うだけではないようです。

日本人もかつて豊かになりました。このころ、海外旅行が盛んになり、ヨーロッパやアメリカで買っただけの海外旅行から帰ったきた人たちは少し自慢げにお土産を配ったものでした。そのころのお土産の多くは外国たばこか洋酒でした。日本人にとって高嶺の花であったウイスキーやブランドデーなどの洋酒を自慢げに応接間に飾る人もいました。ところがこのようなかつての日本人の外国旅行の買い物と中国人の現在の日本での買物のしかたは違います。中国人は生活用品までも日本で買っただけです。中国に輸入し、それを買えばよいと思うのですが、そうではありません。このことは中国での流通や販売のあり方に大きな問題があるようです。日本

まず、商

売の取引は信用を前提にすることです。

見ず知らずの相手を信用すること



如意輪観音像 江戸時代

活動の基本を宗教的な慈愛の精

神に求める考えがあります。最も欲望が強くなる金銭のやりとりも信用で成り立つとすると、経済と道徳との深い関係があることは推測ができます。自分の欲望を満足させるためだけに商取引をするのでは健全な経済活動は成り立ちません。そこにも人々は相手を信用するとい

かしてきたのです。しかし現在の世界を席卷する金融世界の事態は、このような人類の精神の歴史の墮落とも思えることがあります。マネーゲーム、あるいはギャンブルともいえる大規模な投機によって、富める人々はますます豊かに、そして貧しい人々はさらに貧困にあぐらようになってきているようです。このような経済の矛盾をどのように克服するかは私たちが真剣に考えなければならぬ課題でしょう。そのことについて、話題になっている経済書がベストセラーになっています。しかし経済学だけではどうも解決できないほど、人間の経済活動は精神に深く関係しているようです。

仏教の基本精神は、自らが過度な豊かさを求めず、多くの

古くなった冷蔵庫を買い換える参考にといい、家電売り場の場に行きました。そこではほんとうに驚く光景に出会いました。その売り場の階の至るところで中国語での大声の会話が聞こえます。日本人の客は少なく、ほとんどが中国人のようでした。これがいわゆる「爆買い」の現場なのかと、妙な感心をしてしまいました。大きな荷物をいくつも手にする中国人もいます。また大声で品定めをしている人

で買えば偽物をつかまされないという安心感もあるようです。たしかに、私たちは商品を購入するときに偽物かどうかという気遣いをまったくしません。そして定価どおりに買うことが当たり前になっていきます。しかし、このような当たり前の買い物、商取引が行われることは考えてみると深い意義があるように思えます。

信用は道徳的に成り立ちますが、それは単に精神のありかたとしてだけでは考えられない要因があるといえるでしょう。中国に「衣食足りて礼節を知る」ということわざがあります。経済的にゆとりができてはじめて道徳が成り立つという意味でしょう。しかし「衣食」が足りても「礼節」をわきまえないことも多くあります。

また、日本では「武士は食わねど高楊枝」といい、経済的に

複雑な経済システムの根本にすえてきました。そのために人類は長い歴史のさまざまな教訓を活

廣澤隆之先生のプロフィール

●大正大学教授

●浄福寺住職

東日本大震災犠牲者慰霊地藏尊像二万體奉安 北釜地藏堂（仮称）のご本尊地藏菩薩立像



ブロンズ製地藏菩薩立像の概要

総高一八二cm・総重量一七〇kg
作者 彫刻家 今城國忠先生
奉納 国立市 佐藤収一氏
高幡山 金剛寺

尚この尊像は佐藤氏より菩提寺の高幡山へ奉納されることになっておりましたが、貫主の要望で佐藤氏のご諒解をいただき、北釜地藏堂の本尊として観音寺へお届けすることになりました。

東日本大震災犠牲者慰霊地藏尊像 二万體奉安事業についてのご報告

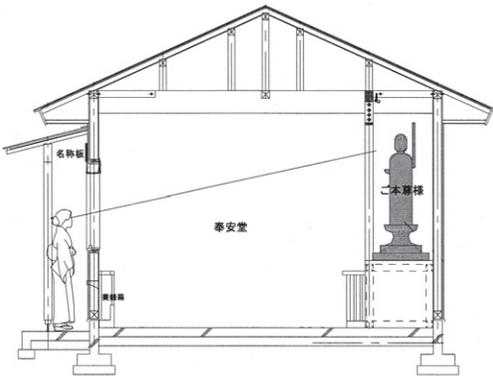
お蔭さまで尊像奉安事業は去る七月二十二日に当山境内受付分が一万體を越え、その後もほぼ順調に推移しておりますので、今後とも宜しくご協力下さいますようお願い申し上げます。

尚当事業には大本山高尾山（五〇〇体）及び田無総持寺（五一〇体）からのご報告もいただいておりますので、更に智山派多摩教区・宮城教区のご協力もいただけることになっておりますので、その分も含めて山報十二月一日号でまた報告させていただきます。

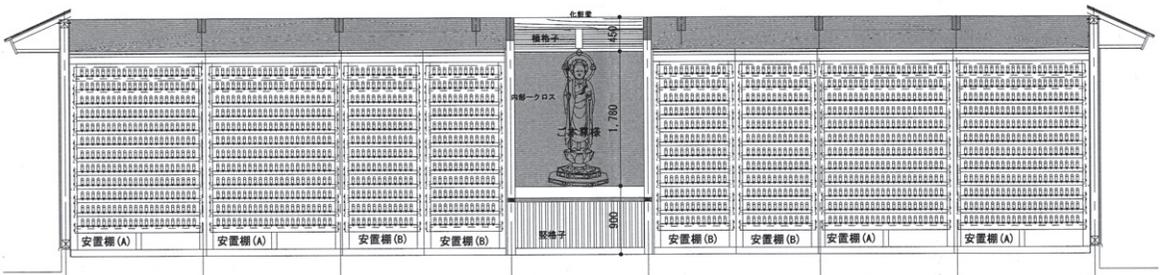
今城國忠先生の略歴

大正五年 広島県府中町に生まれる
（本名 守治）
昭和二十年 広島で被爆・終戦
昭和二十七年 東京都国立市に移住
昭和三八年 第六回新日展に「ふたり」を出品・特選
昭和三九年 第七回新日展に「女二人」を出品・特選
昭和六三年 第十八回日彫展に「雪の朝」を出品・北村西望賞
平成六年 「今城國忠作品集」発行
平成十二年 永眠

北釜地藏堂側面図



北釜地藏堂東側断面図





高幡不動尊
フォトニュース

彼岸花植栽プロジェクト (8/5)
中央 貴主、右 大坪市長



あじさいの部 銀賞「散策」
調布市 北野 修



3人の僧が誕生しました。
得度式 (7/29)



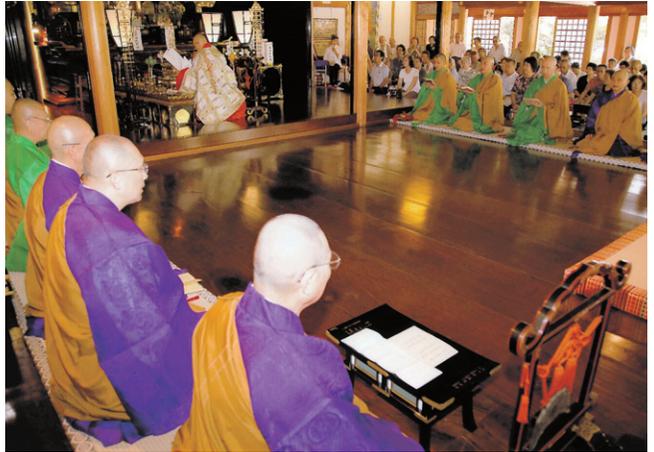
楊州周延浮世絵展 於大日堂 10/21~11/30
「八王子市夢美術館の幕末明治の浮世絵探訪」
に併せて当山所蔵の楊州周延浮世絵作品50点を
すべて展示いたします。写真は千代田の大奥



いろはもみじをご奉納 (6/19)
IHI労組連合会武蔵野支部航友会の皆様



四季の部 銀賞「奮闘!ちびっ子新選組」
八王子市 伊東 繁雄



大施餓鬼会法要 8/15



感謝を込めてあじさい毬切り
(ボランティアの皆様 7/18)



涼を呼ぶ七夕祭り 6/28
(参道通り)



トラックで運び込まれた彼岸花の球根



あじさいの部 銅賞「アジサイと傘の共演」
日野市 橋本 昌利

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。

平成二十七年七月末日まで
(敬称をすべて省略させていただきます)

仁王門修復 寄進者芳名

川口市	小	喜美子
渋谷区	河上	ひろこ
世田谷区	岩崎	千恵子
国分寺市	鴨下	満雄
多摩市	大塚	政順
昭島市	新道	多喜江
日野市	豊住	秀夫
日野市	八木	貞子
日野市	齋藤	さと子
日野市	高崎	友孝
相模原市	松本	信子
横浜市	竹内	登喜子

境内整備緑化資金 寄進者芳名

三鷹市	寺田良博
彦根市	西澤政男

千体地藏尊 奉安者芳名

世田谷区	山和電子(株) 代表取締役
武蔵村山市	山下米夫
武蔵村山市	井口利夫
武蔵村山市	井口了
日野市	村上光治
日野市	和上翔節
日野市	小泉卓也

幟旗奉納者芳名

新座市	細沼俊
新宿区	山口真絵子
西東京市	今井大煌
昭島市	佐々木奉代
昭島市	佐野千尋
調布市	横尾和行
日野市	山本きく乃
日野市	平塚久乃
八王子市	小谷田佳久
町田市	諏訪和世
町田市	山本芳男
厚木市	久光守志
相模原市	座間清志

彼岸花球根奉納者芳名

平成二十七年八月五日まで

30000個	日野市	東京日野ロータリークラブ
10000個	加須市	實乗院
9000個	日野市	平公郎
9000個	日野市	小宮晴司
7400個	府中市	伊奈孝一
5000個	日野市	平力男
1000個	紀の川市	増尾康博
1000個	八王子市	吉田光明
800個	日野市	濱田宣郎
500個	府中市	森田チカ子
500個	相模原市	松本信子
360個	府中市	羽生幸子
300個	日野市	阪口裕三
300個	日野市	土方正信
300個	日野市	峰岸立枝
250個	日野市	土方弘
200個	釜石市	森脇妙紀
200個		紫陽花会
100個	東村山市	大西禮子
100個	八王子市	石井照映
100個	八王子市	草間正樹
100個	調布市	井出悦子
100個	世田谷区	大野富子
100個	八王子市	倉林幸子
100個	練馬区	倉林玲子
100個	日野市	平野英夫
50個	国立市	守屋文子
35個	多摩市	福森玉枝
30個	八王子市	小池康子
10個	横浜市	狩野志寿雄
10個	世田谷区	中山菜穂子



少年野球のメンバーも多勢参加



彼岸花植栽プロジェクト法楽 8/5

彼岸花植栽プロジェクト

皆様より沢山のご奉納をいただきありがとうございます。の植栽式が八月五日開催されました。無事成満を祈る法楽の後植栽開始、猛暑にも拘らず二百人余りの方が球根をひとつひとつ丁寧に植え付けました。

ネパール見舞金は
合計百万円に

ネパール大地震被災者見舞金が更に五十万円になりましたので去る七月九日に読売新聞を通じてネパールへお届けしましたのでご報告申し上げます。

尚以後の募金は従来通り東日本大震災被災者救援募金・インドハンセン病救援金・アフリカ緊急募金に切り替えさせていただきます。

おことわり

この度の山報では紙面の都合で「諸品奉納御礼」と「当山の記念碑・文学碑」が収録できませんでしたので、次号掲載とさせていただきます。

訂正

山報九十一号の山内消息で東日本大震災復興支援物産展開催の本文中、盛岡市の不動寺様を釜石市の不動寺様と訂正させていただきます。

諸行事に参加して

(敬称略)

五月大祭講演(5/28) 「自分らしく輝いて生きる」 女優・冒険家 和泉雅子先生

日野市 橋本 日活で女優として活躍していた和泉さんがどの様な事で北極へ行く事になったのかが良く分かりました。どんな時でも前向きで明るい性格が成功へと導いたのだと思います。同世代とは思えない程元気で若々しいのは性格もさる事ながら御自身の努力もあると思います。これからも御自愛されて活躍される事をお祈りいたします。

昭島市 竹内 和子 和泉先生の経験談から始まり途切れない話し方、人との接し方、自分自身の役割り分担、更に協力者とのコミュニケーションションの大切さを教わった感じがしました。今後この様な講演を是非続けて頂ければ幸いです。

日野市 正岡 洋子 和泉さんのお話し涙が出ました。素晴らしいお人柄ですね。高幡不動尊の境内では、朝お庭を清められていて散策の都度、心が静められています。

お心のこもった自然を感じたいしております。

青葉まつり記念法話(6/15) 「こそ」のおきどころ 玉泉寺 本間啓庸先生

日野市 横井今朝子 やさしく判りやすく仏門のお話をされ、ありがたく聞かせていただき有難うございました。「こそ」の置きどころを心得て生きていきます。

川崎市 澤村 陽佳 講演とても楽しめました。日々いただくさまさまな御縁を、良縁にするも悪縁にするも自分次第なのだ分かりました。これは厳しいことのようにも感じられますけど、自分次第で自分の人生はいかにでもハッピーなものにしていく、というポジティブな教えでもあるように思います。



五月大祭講演 和泉雅子先生

両大師様との御縁に感謝して精進しようと思えます。

法要はとても厳かで、声明に魂が洗われるようでした。最後に内陣もじっくり見せて頂いて有難うございました。

和ろうそく絵付け体験(6/20・6/21) 武蔵野市 皆川 清美

和ろうそくが好みだと言う人にプレゼントしようと思いついた。是非にと参加致しました。その前に奈良の或るお寺に寄った折、そこに和ろうそくを発見。よく聞けば同じ業者さんだった様で、巡り合いの不思議さを感じました。兵庫県でしか製造されていない様です。

絵心は有りませんが好きな水仙の花を体験させて頂きました。勿論、水仙柄のろうそくも求めました。合掌

町田市 田島 千恵

はじめて和ろうそくの絵付けをしました。アクリル絵具があさがおを描きました。意外と花は知っていたようで描くとむずかしいものでした。なかなかこういう体験は出来ませんので、短い時間も楽しく出来ました。お兄さんも親切でした。



青葉まつり講演 本間啓庸先生

鎌倉市 高橋 保子 お大師さまの日にお大師さまを写せる幸せをかみしめて描きました。深く感謝いたします。

日野市 佐藤 暢子 ユーモアの中にも人生の生きるべきポイントをつかんだすばらしいお話をありがたうございました。無理をしない生き方、無理を押し付けられない他人への励ましなど、改めてこれからの目標にしたいと思えます。

府中市 伊東よう子 本日は「父の日」。亡き父の好きだったモンブランを帰りに買って帰ろうと思っていたところ、たまたま和ろうそくの絵付け体験に出会いました。「父のプレゼントにちょうどいい!」と二本絵付け体験しました。あじさいの絵を描きながら、父が喜んでくれる姿を想像していただきました。いい時間をすごさせていただきました。

山内八十八ヶ所クイズ

日野市 村田 朋子 秋の曼珠沙華も楽しみです。今の季節の「あじさい」毎日のように高幡山を巡りますが手入れが行き届いており感謝しております。富士見台は木を切ってくれて見晴らしが良くなりました。大変だったと思います。

日野市 吉野 一枝

八十八ヶ所巡拝路添いのあじさいを楽しみながら巡ることができ、とても素敵でした。今回初めてでしたが、今後散歩コースにしたいと思いました。

牧宥恵先生写仏教室(6/20・6/21) 豊島区 中尾 道明

ようやく仕上げましたが、線が一定ではなく、かなり下手でした。線一本だっけ書くのは奥が深いということが分かりました。とくに小さい丸を書くのがとても大変でした。

秋の行事案内

(毎月十五日にはお焚き上げが行われます)

◇九月

- 13日(日) フリーマーケット
- 20日(日) ござれ市(がらくた市)
- 21日(祝) 月例写経会(午後一時半) 貫主法話
- 23日(祝) 彼岸会法要(午前七時) 大日堂
- 24日(木) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(月) 秋大祭大般若会 お花講総登壇日
- 記念法話 講師 福傳寺 住職 原 豊壽先生
- 演題 「不動明王と大般若会について」

◇十月

- 11日(日) フリーマーケット
- 18日(日) ござれ市(がらくた市)
- 21日(水) 月例写経会(午後一時半) 貫主法話
- 21日(水) 多摩八十八ヶ所巡拝結願法要
- 記念法話 講師 多摩八十八ヶ所第十六番札所 観音寺 住職 高木慎信先生
- 演題 「お大師さまとともに」
- 21日(水) 楊州周延浮世絵展 (四頁参照)
- 24日(土) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(水) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶
- 28日(水) 11月17日(火) 第四十五回 高幡不動尊菊まつり (下段参照)

◇十一月

- 7日(土) 七五三祈願 (下段参照)
- 8日(日) 五重塔ブルーライトアップ (十六頁参照)
- 8日(日) フリーマーケット
- 15日(日) ござれ市(がらくた市)
- 18日(水) 30日(月) 高幡不動尊もみじまつり (九頁参照)
- 21日(土) 月例写経会(午後一時半) 貫主法話
- 21日(土) フラワーデザイン教室
- 21日(土) 嵯峨御流華展
- 22日(日) 23日(祝) 萬燈会・たかはともみじ灯路(九頁参照)
- 23日(祝) 花塚供養
- 24日(火) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(土) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶
- 29日(日) 牧者恵先生「法話と写仏教室・三昧画展」

第四十五回高幡不動尊菊まつり

恒例の高幡不動尊菊まつりが左記の通り開催されます。皆様お誘い合せてご鑑賞下さい。

記

- 一、月 日 十月二十八日(水)～十一月十七日(火)
- 一、会 場 高幡不動尊境内
- 一、参 加 多摩菊花連盟参加十一市の菊作り愛好家
- 一、出 品 厚物・管物・一字・懸崖・福助・だるま・盆栽・切花等一、四〇〇点余り
- 一、特別出品 参加十一市の特設花壇及び特志者の大作(千輪咲・菊人形)等も出品。
- 一、審 査 十一月五日・十三日の両日に行われ、内閣総理大臣賞をはじめ各大臣賞・東京都知事賞等が贈られます。

※期間中は毎日菊作りの相談及び菊苗の販売が行われます。展示された菊花のうち切花は十一月七日・十五日の両日朝から、福助は十一月十三日午後一時から即売されます。※菊の育て方講習会も行われます。日時(十月二十九日) 当日申込・参加費五百円・問い合わせは日野市観光協会(四五八六―八八〇八)まで。

又、期間中のご縁日・日曜・祝日等は七五三詣とも重なり大変混み合いますので、なるべく電車・モノレール・バスをご利用下さい。

七五三・新生児祈願のご案内

お子様の健康をお祈りする七五三祈願は十月～十一月中毎日、新生児祈願は一年中ご修行しております。

◎ご修行時間 午前九時～午後四時

◎ご祈願料 金三、〇〇〇円以上 (お札・供物料含む)

※堂内ではお子様を中央前に、ご家族の方はその後ろにお座り下さい。



高幡不動尊もみじまつり

十一月十八日(水)～十一月三十日(月)

境内から裏山にかけては、樹齢二百年以上の古木三百株・約三十年の稚木一〇〇〇株が集中しています。特に五重塔・大師堂・鐘楼堂付近のもみじは見事でライトアップも予定されております。

もみじまつり期間中の主な行事・催しは左の通りです。

- 十一月十五日 ござれ市
- 十一月二十一日 月例写経会(買主法話)
- 十一月二十一日・二十二日 フラワーデザイン展
- 十一月二十一日～二十三日 嵯峨御流華展
- 十一月二十二日・二十三日 萬燈会・たかはたもみじ灯路
- 十一月二十三日 花塚供養
- 十一月二十四日 千体地藏尊月例法要
- 十一月二十八日 ござ縁日

萬燈会・たかはたもみじ灯路

当山では左記の通り二日間に亘って萬燈会を奉修し、皆様
の七難即滅・七福即生並びにご先祖様の追福菩提をお祈りさ
せていただきますので、皆さまお誘い合せてご参加下さい。
尚、両日とも午後六時から門前町一帯で、約二四〇〇個の
置灯明が点灯され、「たかはたもみじ灯路」の幽玄な世界が
現出されますのでお楽しみ下さい。

記

- 一、月 日 十一月二十二日(日)・二十三日(祝)
- 一、会 場 高幡不動尊五重塔
- 一、行 事 法 話・詠歌奉詠 午後四時
萬燈会(塔院) 午後五時
塔婆供養(五重塔前) 午後五時三十分
奉納コンサート 午後六時
- 一、御燈料 金一、〇〇〇円也(一人につき)
- 一、経木塔婆 金一、〇〇〇円也(一霊につき)
- 一、浮燈明 金 五〇〇円也(五重塔の池に浮べる燈明です)

大提灯ご奉納のお願い



ご奉納いただいた大提灯

当山では萬燈会・正月・大祭・節分等の大行事の折、各所に大提灯をお飾り致しますのでご協賛の程お願い申し上げます。

- 尚、募集要項は左の通り
 - 一、品 名 萬燈会及び大祭用大提灯(ご奉納者芳名入り)
 - 一、募集数 五十基
 - 一、志納金 金五〇、〇〇〇円
 - 一、申 込 当山事務局又は宝輪閣受付
- (ご連絡下されば申込書をお届け致します)

牧 宥恵先生「法話と写仏教室」

紀州根来山の画僧・牧 宥恵先生と楽しく学べる「法話と写仏教室」を開催致しますので奮ってご参加下さい。

記

- 一、日時 十一月二十八日(土)・十一月二十九日(日)
- 一、会場 宝輪閣地階ホール
- ※午後四時の護摩修行で皆さまの描かれた写仏をお不動様に奉納致します。



阿弥陀如来 牧 宥恵 筆

◇お申込・お問合せは
高幡不動尊事務局
で
〇四二五九一〇〇三二

第七回

藤蔵勝五郎生まれ変わり記念日

イベントのお知らせ

日野市郷土資料館の勝五郎生まれ変わり物語探求調査団では、十月十日に迎える「藤蔵・勝五郎生まれ変わり記念日」に際し左記の通りイベントを開催致しますのでお誘い合せてご参加下さい。

記

- 〇日時 十月十日(土) 午後一時半～四時
- 〇会場 五重塔地階大ホール
- 〇募集 二百名(直接会場へ)
- 〇参加費：無料
- 〇イベント内容
- ①勝五郎生誕二百年記念式典(映像紙芝居・子孫のご挨拶など)
- ②記念講演会
- 〇講師 大門正幸氏(中部大学 学教授・バージニア 大学客員教授)
- 〇演題「勝五郎と世界の生まれ変わり事例―実は身近な過去生の記録―」
- ※終了後、希望者を藤蔵墓地にご案内します。
- 〇共催 高幡不動尊金剛寺 日野市郷土資料館 勝五郎生まれ変わり物語探求調査団

第三十二回あじさいまつり

今年にあじさいの開花が十日程早く、適度な雨にも恵まれ例年より長い期間見事な花が続き、多勢の方々に楽しんでいただきました。

少年柔剣道奉納大会 6/7

日野警察署内の道場で稽古に励んでいる少年少女二十六名が、すばらしい奉納試合を繰り広げました。各部受賞者は次の通りです。

○柔道
・少年の部
優 勝 森野 拓郎

「あじさいまつりで一位をとれたのは親や先生、先ばいがたのおかげです。これからもこの優勝にうかれず練習していきます。そして次回の大会



勝負のゆくえは 少年柔剣道大会

でもいい結果を出せるようにがんばります」

○剣道
・少年の部
優 勝 和田慎之助
準優勝 高井 陽郷
打止め賞 奥野 雄太

「ぼくはこのあじさいまつりの奉納大会に気持ちを投入してがんばりました。なぜなら五重のとうの下で恥ずかしくない試合をしたかったからです。試合直前、急にきんちょうしてしまいました。その気持ちをふきとばして試合をがんばりました。結果は優勝することが出来たけれど自分の中で、まだまだ皆さんの課題が見つかったので、これからもけいこをがんばっていききたいと思っています」

日本拳法奉納大会 6/14

三十二回目を迎えた日本拳法奉納大会は二十団体一五一名の参加者で終日熱戦が繰り



息をのむ熱戦 日本拳法大会

広げられました。本年の参加団体と各部受賞者は次の通りです。

明治大学・中央大学・立教大学・國士館大学・日本大学・早稲田大学・南平拳友会・明治学院大学・南平拳友会・黒綾館・府中道場・横浜道場・笠懸道場・圏央ネット・拳水会・修猷塾・第三十二連隊大宮・第三十四連隊板妻・陸自滝ヶ原拳法部・第一連隊練馬。

優 勝 佐土原拓也
「三段以上の部で二連覇できてうれしかった。また来年も頑張ります」

準優勝 清水 直人
「このような場所で試合ができることはこの大会しかないので毎年とても楽しみにして

います。三段決勝で負けてしまったので来年こそは優勝します」

三位 法島 政文
優 勝 三橋 寛久
準優勝 西山 文哉
三位 細川 純来
初段の部
優 勝 橋本 明弘
準優勝 高尾 誠
三位 轡 孝英

級の部
優 勝 齋藤 晶
準優勝 赤時 誠
三位 中村 圭志

女子の部
優 勝 石井 理沙
準優勝 由良沙優花
三位 渡辺 怜那
「普通の体育館での試合とは違った雰囲気での戦い、とても楽しかったです。皆様から注目を浴びながらも何とか結果を残すことができました。この度はありがとうございました」

空手奉納大会 6/28

当日はお天気に恵まれ、合間に水を撒きながら境内での演武・ライトコンタクト(グローブ着用)空手・厚板の試割が披露されました。各賞受

賞者は次の通りです。
・一般の部
優 勝 八木 武寛

「第三十二回のあじさいまつりを迎えられたことを大変うれしく思います。第十回の頃から参加させていただいておりますが、その頃に比べると空手が発展してきたことも良かったことだと思っています。今後も高幡山で不動会との連絡ができるよう努力していきます」

・ライトコンタクト空手
敢闘賞 森 正義
努力賞 鈴木 平助

尚今年の参加団体は日本空手道不動会本部・空手道多摩不動会・日本空手道不動会八王子支部・空手道武現塾の皆様です。



気合いのためし割り 空手大会

あじさいまつり全国俳句大会

兼題は、一三二三名・二六二六句の応募があり、十四名の先生方に各七十句選を依頼し合計点で上位三十名の入選が決まりました。

上位入選者(一位〜三位)
花の寺一番護摩の炎の高く

日野市 中村登代子

囀りの中に荷を解く露天商

日野市 小澤 美祿

芽起しの風に乗ってくる法鼓かな

昭島市 田中 順

④高木ヤエ子 ⑤安部 節夫

⑥橋本 奏子 ⑦根本 國男

⑧橋田美智子 ⑨塚崎五合子

⑩綱島 清 ⑪酒井 努

⑫小林美智恵 ⑬吉川日出子



俳句大会 大竹多可志先生講演「野ざらし紀行逆まわり」 8/8

記念俳句大会は八月八日高幡不動尊を会場に盛大に行われました。当日の句会は当季雑詠二句で三〇〇名の方が出句、出席諸先生方の選で上位三十名が表彰されました。尚、当日は俳誌かびれ主宰大竹多可志先生による『俳句の生まれる現場』『野ざらし紀行』逆まわり』と題しての記念講演が行われました。

表彰式・記念俳句大会 8/8

表彰式には一四〇名の出席があり諸先生方による講評が行われました。尚、選者・講評をおつとめ下さった先生は次の方々です。(敬称・肩書略・五十音順)
大河原惇行・狩野 一男
長澤 ちづ・福田 龍生
松坂 弘
の諸先生及び当山貫主
上位入賞者(一位〜三位)
認知症気味の妻と詣でし不動尊
あじさいと話す妻をみており
江戸川区 鶴澤 伸行
膝癒えて辿るみ山のおじさいを



俳句大会表彰式 8/8

短歌大会 8/9

短歌大会は二〇三名・四〇六首の投稿がありました。表彰式には一四〇名の出席があり諸先生方による講評が行われました。尚、選者・講評をおつとめ下さった先生は次の方々です。(敬称・肩書略・五十音順)

- 揺らして風の駆けおりてくる 国分寺市 伊藤 洋子
- 一才に満たぬ孫にも好みあり そつとふれる山あじさいに 府中市 塚口 純子
- ①永野 雅子 ⑤河北 笑子
- ⑥見渡 信夫 ⑦中道 操
- ⑧黄金井春夫 ⑨中野 寛人
- ⑩松田 周子 ⑪竹内佐喜子
- ⑫花牟禮みどり ⑬高田 諒治
- ⑭長谷川 瞳 ⑮村上 郁子
- ⑯富永 光弘 ⑰宮本 順子
- ⑱津波古勝子 ⑲河田 公枝
- ⑳徳植 弘幸 ㉑宮田 美子
- ㉒長谷部秋江 ㉓草野いさを
- ㉔土屋 秀夫 ㉕千明 武紀
- ㉖佐藤 彰子 ㉗大野 綾子
- ㉘大木かづ子 ㉙島崎 正造
- ㉚町田 重光



短歌大会 8/9

山内八十八ヶ所めぐりクイズ

山内八十八ヶ所クイズの正解
①弘法大師の誕生日を祝うおまつりは 「青葉まつり」
⑩羊が集団行動する訳は 「さびしがりやだから」
⑳七福神の中で日本の神様は 「恵比寿」
㉑京王バスのキャラクターは 「ピンポンとパンポン」
④殉節両雄之碑の扁額を書いたのは 「松平容保」
⑤JCOM日野「ぴーの」のモチーフは 「カワセミ」
⑥彼岸花の別名は 「曼珠沙華」
⑦街道名がつく多摩モノレールの駅は 「甲州街道」
⑧聖天堂前の箒を持つお地藏様は 「にこにこ地藏」
⑨高野山が開かれたのは今から 「二二〇〇年前」
本年は九一四名の方に解答いただき、全問正解は四八四名でした。

あじさいまつり写真コンクール

今年も総数一七七八点とたくさん作品を応募いただき、七月二十七日に審査会が行われ、合計一〇八点が入賞しました。入賞作品は九月末日まで五重塔千体堂に、その後十月八日より十月十三日まで京王線聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターAB館五階ブリッジギャラリーに展示します。

- | | | | | | |
|----------|---------|----|------|----|-----|
| 応募作品 | 計一、七七八点 | 〃 | 三鷹市 | 吉田 | 久明 |
| あじさいの部 | 一、一一二点 | 〃 | 日野市 | 野村 | 明雄 |
| 四季の部 | 六六六点 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 応募人数 | 三六九人 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 〈あじさいの部〉 | | 金賞 | 八王子市 | 渡辺 | 武彦 |
| 金賞 | 日野市 中村 | 銀賞 | 八王子市 | 伊東 | 繁雄 |
| 銀賞 | 八王子市 新井 | 〃 | 八王子市 | 児島 | 壽美滋 |
| 〃 | 調布市 北野 | 〃 | 小金井市 | 野武 | 高行 |
| 〃 | 八王子市 若杉 | 銅賞 | 日野市 | 石川 | 忠男 |
| 〃 | 八王子市 橋本 | 〃 | 昭島市 | 野武 | 高行 |
| 銅賞 | 日野市 昌利 | 〃 | 海老名市 | 設楽 | 誠一 |
| 〃 | 相模原市 横山 | 〃 | 八王子市 | 清水 | 進 |
| 〃 | 八王子市 佐野 | 〃 | 八王子市 | 高柳 | 清 |
| 〃 | 八王子市 軍英 | 〃 | 八王子市 | 原田 | 恵一 |



四季の部 銅賞「秋の不動ヶ丘」
八王子市 原田 恵一



四季の部 銀賞「私たちがほしいな」
昭島市 野武 高行



四季の部 銀賞「憩いの時」
小金井市 児島 壽美滋



四季の部 銅賞「お詣りの園児たち」
八王子市 高柳 清



四季の部 銅賞「語らい」
海老名市 清水 進



あじさいの部 銅賞「あら!きれいな」
三鷹市 吉田 久明



あじさいの部 金賞「天地人に神宿る」
日野市 中村 克雄



あじさいの部 銅賞「外国からのお客様」
日野市 野村 明雄



あじさいの部 銀賞「紅(くれない)」
八王子市 若杉 慶子



あじさいの部 銅賞「紫陽花の小道から」
相模原市 横山 賢二



あじさいの部 銅賞「初夏の山道」
八王子市 佐野 軍英

山内消息(1)

密厳流詠歌

宮城・名取奉詠大会(6/3・6/4)
密厳流詠歌宮城・名取奉詠大会が名取市文化会館で開催され、高幡山支部の講員が参加しました。



第21回密厳流詠歌 宮城・名取奉詠大会

れを癒していただきました。二日目は、福島県日本三不動の中野不動尊にお参りし洞窟めぐりをして不動さまのご利益をいただき帰路につきました。道中車窓からみえる風景はまだまだ復興が遅れている所もありました。引き続き震災を風化させることなく復興支援を行っていくことを改めて思う奉詠大会でした。(手塚記)

職員研修旅行

(6/8・6/9)(6/10・6/11)

梅雨の合間の晴天に恵まれた中、富山・金澤への研修旅行が実施されました。開業したばかりの北陸新幹線に乗り、相倉合掌造り集落、瑞龍寺、兼六園といった世界遺産や国宝を巡り和倉温泉に一泊する行程でした。歴史と伝統を守る大切さを学ぶと共に感じたことは、もてなす姿勢のあり方でした。各所にボランティアアガイドを配してコミュニケーションを取りながら案内が行われていました。高幡不動でもご参拝の方との挨拶を大切にしていますが、来て良かったと思っ頂けるよう、より一層励まなければならぬと感じた研修となりました。(鳥記)



研修旅行(加賀 瑞龍寺にて)

あじさい毬切り

七月十八日、ボランティアの方々と山内職員総出で紫陽花の毬切りを行いました。昨日の台風の影響もあり、天候を気にしながらの毬切りでしたが無事に終わることができました。来年もまた綺麗に咲き誇るのを楽しみにしています。(丸山幸記)

米田海芳君結婚披露宴

七月二十日立川市アニヴェルセル立川に於て、米田海芳君、秋山瑠衣嬢の結婚披露宴が執り行われました。川澄貫主の祝辞で始まった披露宴は新郎新婦二人の幸せな笑顔で和やかな雰囲気包まれた祝宴となりました。今後、米田君は高幡不動尊を退職され、



三人の新発意 得度式

新潟県三条市の安養院に帰り副住職として、お父様の手伝いをしながら新生活を送られるとの事です。海芳君・瑠衣さん末永くお幸せにおめでとうございます。(石坂記)

得度式厳修

七月二十九日、大日堂に於て、東福寺住職佐藤芳典師法資佐藤海牙十一才、音羽九才、玉泉寺住職野村賢史師法資野村菜奈三十二才の得度式が、当山川澄祐勝ご戒師のもと勤修されました。

慣れない衣に初めてのお経長時間の正座。気温三十度を越すお堂の中で緊張のし通しの新発意でしたが、仏弟子としての新たなるスタートの日となりました。

山主の主な動静

- 6/1よさこいまつり実行委・6/2東京北部教区寺院婦人会参拜・6/7少年柔剣道奉納大会・6/8TV東京取材・6/9フジTV取材・むさしのFM取材・6/10大智寺本葬(焼香)・6/14日本奉法奉納大会・6/15青葉まつり・6/18幡山会総会(八王子)・6/19IH I航友会もみじ奉納護摩・6/22寺田化主猥下退山式・6/25勝願寺(栃木南部教区)参拝団・6/27多摩菊花連総会・6/28空手奉納大会・6/29よさこいまつり実行委・7/1くにたち郷土文化館見学・彼岸花植栽プロジェクト会議・7/2観音寺(埼玉第六教区)参拝団・7/4参道会七夕まつり・7/5寺田前化主猥下ご来山・7/6小峰化主猥下初登嶺・7/8観光協会正副会長会・7/20安養院結婚披露宴(立川)・7/22よさこいまつり実行委・7/26ひのよさこいまつり・7/27写真コンクール審査・7/29得度式(戒師)・8/5彼岸花植栽プロジェクト・8/6広島忌・8/8俳句大会表彰式・8/9長崎忌・短歌大会表彰式・8/15大施餓鬼会・8/23写真コンクール表彰式

高幡俳壇

祐勝選

天

八等分しても一品冷奴

日野市 北村 宗子

(評) 料亭の冷奴は一寸角ほどでも一品、もう少し大きい方がと思うのは庶民。

地

姫百合の荅のままに敗戦日

多摩市 萩生田芳孝

(評) 姫百合隊の悲劇を荅のままにと。

人

マンモスの骨の間より秋の声

八王子市 石川 允義

佳作

歳さんの家に行列五月かな

所沢市 石井 淳子

あぢさゝの迷路たどって札所かな

八王子市 久保田英夫

勝つまではじゃんけんせがむ裸の子

日野市 益本 恒夫

湯上がの嬰兒の眠り半夏生

日野市 斉藤 勝実

きのうけふ色定まりし四葩かな

杉並区 高山 千代

更衣夫婦げんかの一ト休み

調布市 藤田 美代

たかなんに今日わが背を越されけり

小平市 森岡 道生

透き通る翅びびと張り蜻蛉生る

八王子市 清水 和美

大梵鐘大きく響く原爆忌

小平市 窪田 恵子

土用芽の一気に伸びる雨あがり

府中市 小林 修

孟蘭盆会兄は父似でありしかな

八王子市 大串 若竹

経を読むむにまぎるる遠花火

練馬区 大石 良雄

選者吟 金剛の塔の明るさ百日紅

なにげなくつかっている仏教のことば―世界(せかい)

みなさんは「世界」という言葉を、どのように説明するでしょうか。井の中の蛙にとっては、井戸の中が世界でありますが、私たちにとっての世界は、宇宙全体から、ある特定の範囲に至るまで、あらゆる境界を世界と考えているのではないのでしょうか。 仏教では、高く聳える須弥

山を中心とする、私たち衆生の住むところを世界と呼んでいます。またある仏典によれば、世界の「世」とは遷流(時の流れ)を、「界」とは方位(空間)をいい、この時間と空間からなる所を世界としています。 ちなみに「三世」といえば過去・現在・未来を、「三界」

高幡俳壇 作品募集

応募規定

一、はがき一枚に二句記載何枚でも可(無料)

一、選者は当山 川澄貫主

一、秀逸三句に記念品贈呈

一、投稿先

〒一九一〇〇三一

東京都日野市高幡七三三

高幡不動尊・山報係宛

〇ご投句が多く大部分の方の句が掲載出来ませんが、悪しからずご諒承下さい。

お不動さま教えて?

ご質問 先日、お不動さまの境内にある大師堂に参拝致しました。まず、お堂の正面にある四国八十八ヶ所のお砂踏をし、そのあと、堂内に入り手を合わせ、堂内を見回すと、金色で梵字が画かれた花びらのようなものが、ぐるりと取り囲んでいました。そこで質問です。あの花びらのようなものは一体なんなのでしょうか? また



大師堂の華鬘

すなわち順に、
ア (あ) ア (ほ) ア (おん)
ヤ (や) ヤ (べい) ヤ (ろ)
サ (しゃ) サ (のう) サ
(ま) サ (か) サ (ぼ) サ
シ (し) シ (ま) シ (に)
チ (はん) チ (どま) チ
(じんば) チ (ら) チ
(はら) チ (は) チ (りた)
ニ (や) ニ (うん) の二十
三文字からなっています。

この光明真言は、真言密教の根本仏である大日如来(大毘盧遮那如来)のお徳を讃えているものです。經典によれば、光明真言をお唱えすれば、いかなる罪業も滅することができ、また光明真言で加持した土沙を散ずれば、死者は必ず極楽浄土へおもむくことができると説かれています。そこでみなさんも大師堂へお参りする際には、お大師さまの宝号の「南無大師遍照金剛(なむだいしへんじょうこんごう)」とお唱えすることはもちろんのことですが、あわせて大日如来のご真言の一つでもあります。この光明真言をお唱え下さりますようお願いいたします。

お答え はい、お答えします。あの花びらのようなものは、華鬘(けまん)といえます。華鬘とは、もともとは花を糸で連ねて首やからだに着ける飾りのことで、インドの風習に由来するものです。これが道場(堂内)を莊嚴するものとなったものです。 さて、もう一つの質問は、華鬘に金色で画かれている梵字は、光明真言です。

皆様からのお便り

八王子市 栗本佐多子

若葉の候、この度は思いも

かけず御貫主様の選に入り、
短冊まで頂きありがとうございます

しました。拙句は三月写経御

礼参りのあとの山内散策中に

詠んだものです。貫主様御句

「葛城の道は高野へ柿若葉」

に高野山麓橋本市出身の私は

思わず紀の川柿山の広大な景色を思い出しました。お大師さまのご縁、ありがとうございます。

せな気分です電車に乗りました。皆さまにもよろしく。 匿名

合掌

女優・冒険家 和泉 雅子

先日は本当にありがとうございます

ございました。隅々までお掃除

がゆきとどき、アジサイの手

入れもすばらしく皆さまにあ

たたかく迎えていただき、帰

りにおせんべい三十袋買い幸

しています。

今年も世界糖尿病デーにちなみ五重塔のブルーライトアップ及びチャリティーイベントを左記の通り開催します。

世界糖尿病デー
五重塔ブルーライトアップ

今年も世界糖尿病デーにちなみ五重塔のブルーライトアップ及びチャリティーイベントを左記の通り開催します。

記

◇五重塔ブルーライトアップ 十一月七日～十四日

◇チャリティーイベント 十一月七日午後五時開演

(塔院大ホール・入場無料)

・ 貫主法話

・ 糖尿病レクチャー

・ ブルーライトアップ寄席

○古今亭文菊 (NHK新人演芸大賞受賞)

○桂 宮 治 (NHK新人演芸大賞受賞)

・ 主催 朝比奈クリニック

・ 後援 高幡不動尊金剛寺



五重塔ブルーライトアップ遠景
四季の部 入選「夜景と」
日野市 菅野 貴昭

御◆案内

交通安全祈願

午前九時～午後五時
午後四時半までにお申込下さい。

○ご祈願料 金三千円也

御護摩修行

○平日 八時・十時・
十一時半・一時・三時

○土曜・日曜・祝日

八時・十時・十一時半・
一時・二時半・四時

○但し一日、十五日の午前中は
五時・十時・十一時半

○ご縁日(二十八日)

五時・九時・十時・十一時・
十二時・一時・二時半・四時

○御護摩料

金参千円也
金五千円也
金壹万円也

(大護摩) 金参万円以上

ご縁日 毎月二十八日

境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市)

毎月第二日曜日(雨天中止)

ござれ市(がらくた市)

毎月第三日曜日(雨天決行)

お焚き上げ

毎月十五日午前九時

月例写経会

毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要

毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館)

午前九時～午後四時

拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観

午前九時～午後四時

参拝料 二〇〇円 (月曜休館)

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

ことしの夏は今まで経験したことのない猛暑が過ぎましたが、当山の場合緑ゆたかですのが、八月十日の三四・五度が最高で(八月十五日現在)まだ一度も三五度を越えていません。この度の山報は、多勢の方にお楽しみいただいたあじさいまつりのご報告と、秋の諸行事の案内を中心に編集させていただきました。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733

別 格 本 山
高 幡 山 金 剛 寺

電 話 (042) 591-0032(代)
FAX (042) 593-3038

発行人 杉 田 純 一
編集人

年 4 回発行・再生紙使用